

## 平成 29 年度 第 2 回三原市地域公共交通活性化協議会 会議概要

日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 13：30～14：30

場 所：三原市中央公民館 第 1 研修室

出席者：15 名（欠席 5 名）

内 容：

### 1. 開会あいさつ

### 2. 報告事項

#### (1)平成 29 年度（4 月～11 月）地域コミュニティ交通の利用状況報告について

[事務局から資料 1 により報告]

[質疑応答]

議 長：全体的には上昇気味ではあるが減少しているところもやや見られる。今後の努力もまた必要であろう。

各委員：本郷ふれあいタクシーだが、色んな会議で要望事項を聞くと、高齢者の手押し車が積めないのが辛く、何とかしてほしいという。例えば形式を指定して、折りたためば小さくなるものに限っては乗せても良い等、条件を付けて利用できないものか。

事務局：そういった要望があるということで、運営する本郷町町内会長連合会、タクシー事業者と協議し、運行に支障がないようであれば見直していきたい。

各委員：こういう制度を作ってもらい、高齢者は大変喜んでいる。お礼を申し上げる。P2 の北方をみると 11 月は昨年が 137 人であったが、今年は 184 人とすごく増えている。敬老者についても昨年は 128 人であったが、今年は 166 人になっている。非常に老人は助かっている。

1 つ質問であるが、本郷ふれあいタクシーでは敬老者は 200 円であるが、久井では 100 円である。どうして差があるのか教えてほしい。

事務局：三原市の料金設定について、本郷や大和で行っている、家まで迎えに来てくれる形式については利便性が高いということで 1 乗車 300 円としている。一方、久井や佐木島は停留所まで出なければ利用が出来ない。そのサービスの違いから、乗合タクシーについては 300 円、路線定時型については 200 円と設定している。

各委員：庭先まで来てくれるのが 300 円、停留所まで出ないといけないのが 200 円。タクシー型が 300 円で、バス型が 200 円ということ。

おかげさまで安心して免許が返せるので利用している、という声がある。

各委員：本郷ふれあいタクシーは順調に増えているが、例えば運行時刻別で特に多い・少ないといった傾向はあるか。午前中に通院等で出掛けてお昼には帰るといった利用であろうが、そういった実態に合わせた設定も考えられるかと思う。

事務局：昨年の 10 月から 3 月の利用実績をまとめたものになるが、9：45 の便が 1 番多く、その次が 9：00、その次が 11：15 となっている。帰り便は 12：00 の便が 1 番多い。10：30、14：00、15：00 については 1.6 人～2 人くらいの利用になっているので差は少ない。

各委員：積み残しが出るくらいの集中はまだないのか。

事務局：積み残しはまだない。

議 長：往路は 9：45 が、復路は 12：00 が 1 番多いということである。

各委員：大和ふれあいタクシーの利用者が減少している。P11 をみると 10%以上の減少になっている。本郷は地元の利用促進活動が功を奏して伸びているが、大和の方は何か要因を掘んでいるのか。

各委員：詳しく分析したわけではないが、今まで利用されていた方は女性が中心であるが、高齢化のため、施設に入られたり、外に出られない方も増えている。新しく加入促進もしているが、そういった方々はまだ運転免許を持っており、ふれあいタクシーをなかなか利用されない。そういったものが1つの大きな要因かと思う。

### 3. 協議事項

#### (1) 久井ふれあいバス経路の一部変更及び停留所の新設について

[事務局から資料 2 により報告]

[質疑応答]

各委員：今回石井さんの家の前に新しく停留所を作ることであるが、他の停留所をみても「〇〇さん宅前」というのが多数ある。家の前に作ってもらっている方というのは実際に利用が多いと考えて良いのか。あまり使わなくなっている方もいらっしゃるのか。

事務局：目印になる建物がないので「〇〇さん宅前」等の設定が多く見られる。久井ふれあいバスが始まる以前からの停留所の名前になっており、その方が今使われているかどうかというのは把握していない。

各委員：民生委員さんからの情報を入れられて変更されたということで、評価したい。市役所・交通担当・民生委員さんのコネクションは定期的にとられているのか。それとも今回のようにサポート的に入られるのか。

事務局：今回は民生委員さんの方からの要望があったものに対応した。こちらから民生委員さんに対してお伺いするということは今の所ないので、今後意見を聞く機会を増やしながら対応していきたい。

議長：それでは他に意見等なしということで事務局からの提案の通り承認されたものということでとりまとめる。

#### (2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について

[事務局から資料 3 により報告]

各委員：P2 の⑤の目標・効果達成状況について。これは 28 年度についてなのか。久井ふれあいバスの人数はさきほどの 29 年度のものとは違う気がする。

事務局：この対象期間が 28 年の 10 月 1 日から 29 年の 9 月 30 日までとなっており、その 1 年間の利用実績となる。先ほど資料 1 で提示したものは 29 年 4 月から 11 月なので数字が違う。

議長：それでは事務局からの説明のとおり承認されたものとする。

#### (3) 平成 29 年度三原市地域公共交通活性化協議会会計予算の補正（案）について

[事務局から資料 4 により報告]

議長：ただいまの説明のとおり、補助金が増加したということで補正額がご覧のようになった。これについて何か質問はないか。それではなければ了承いただいたということでとりまとめさせていただきます。

#### 4. その他

各委員：資料3の別添1-2について。地域の交通の目指す姿ということで「市内中心部への移動手手段の確保等，広域的な移動利便性の向上を図っている」とある。大和ふれあいタクシーは平成16年から開始している。三原市と合併する以前からである。その当時は大和町だけの地域内交通であったのでよかったが，三原市と合併すると中心部はどうしても三原市になる。今1番の課題は大和町内から出られないということである。例えばJRの河内駅へ行き，そこから列車に乗って三原へ行くという利用をされる方が多い。少なくとも三原市中心部に連結した運行エリアを考えてほしい。検討いただければと思う。

議長：大和ふれあいタクシーの範囲をもう少し広めしてほしいというご要望である。この点について今後前向きに検討していただきたいという事も含めてよろしくお願いしたいということである。

事務局：河内駅方面への連絡には河内・甲山線のバスがあり，コミュニティ交通と競合するという事になると難しい。実際には料金が高いということもあり，福祉の施策とも関連する。また，大和地域から三原に行くにはバスの便数が少ないということもあり，利用者が少ないということが1番のネックになっている。三原市中心部に向かう部分の連結に対して，どのような方法があるかということについては課題と考えている。検討してきたい。

各委員：広域連携ということで考えていただきたい。

議長：他に何か意見はないか。

各委員：旧三原市の北部の八幡地区の路線，あるいは御調線の収支率が悪い。尾道市との関係もあり継続ということであったが，進捗があれば教えてほしい。

事務局：八幡町の路線バスの利用が少ないということでバスを廃止して，八幡町内を走る地域コミュニティ交通の導入について以前ご説明した。現在の状況としては地域の方と何度か話しをする機会を設け，どのような運行形態が良いかということについて話している。また，切り換えの時期や御調でのやり方などについてなど，尾道市とも来週話しをする。調整も随時しているので，また協議会でご報告する。

#### 5. 閉会

[事務局から]

- 次回の協議会は，準備が整い次第，各委員へ開催の連絡を行う。